

就労継続支援A型事業所におけるスコア表（全体）

事業所名	桜ほのぼの苑大和田事業所
住 所	大阪市西淀川区大和田3-9-7
電話番号	06-6105-7565

事業所番号	2711001467
管理者名	吉原 隆司
対象年度	令和8年度

(I) 労働時間		40 点
①1日の平均労働時間が7時間以上		
②1日の平均労働時間が6時間以上7時間未満		
③1日の平均労働時間が5時間以上6時間未満		
④1日の平均労働時間が4時間30分以上5時間未満		
⑤1日の平均労働時間が4時間以上4時間30分未満	○	
⑥1日の平均労働時間が3時間以上4時間未満		
⑦1日の平均労働時間が2時間以上3時間未満		
⑧1日の平均労働時間が2時間未満		
①90点 ②80点 ③65点 ④55点 ⑤40点 ⑥30点 ⑦20点 ⑧5点		

(II) 生産活動		40 点
①過去3年の生産活動収支がそれぞれ当該各年度に利用者に支払う賞金の総額以上		
②過去3年の生産活動収支のうち前年度及び前々年度の各年度における生産活動収支がそれぞれ当該各年度に利用者に支払う賞金の総額以上		
③過去3年の生産活動収支のうち前年度における生産活動収支のみが前年度に利用者に支払う賞金の総額以上	○	
④過去3年の生産活動収支のうち前々年度における生産活動収支のみが前々年度に利用者に支払う賞金の総額以上		
⑤過去3年の生産活動収支のうち前年度及び前々年度の各年度における生産活動収支がいずれも当該各年度に利用者に支払う賞金の総額未満		
⑥過去3年の生産活動収支がいずれも当該各年度に利用者に支払う賞金の総額未満		
①60点 ②50点 ③40点 ④20点 ⑤-10点 ⑥-20点		

(III) 多様な働き方（※）		15 点
①免許・資格取得、検定の受検勧奨に関する制度		
就業規則等で定めている	○	
②利用者を職員として登用する制度		
就業規則等で定めている	○	
③在宅勤務に係る労働条件及び服務規律		
就業規則等で定めている	○	
④フレックスタイム制に係る労働条件		
就業規則等で定めている	○	
⑤短時間勤務に係る労働条件		
就業規則等で定めている	○	
⑥時差出勤制度に係る労働条件		
就業規則等で定めている	○	
⑦有給休暇の時間単位取得又は計画的付与制度		
就業規則等で定めている	○	
⑧傷病休暇等の取得に関する事項		
就業規則等で定めている	○	
小計（注1）		8 点
（※）8項目の合計点に応じた点数（注1）5以上：15点、4～3：5点、2点以下：0点		

(IV) 支援力向上（※）		5 点
①研修計画に基づいた外部研修会又は内部研修会		
参加した職員が1人以上参加している	○	
②研修、学会等又は学会誌等において発表		
1回以上の場合		
③視察・実習の実施又は受け入れ		
いずれか一方のみの取組を行っている	○	
④販路拡大の商談会等への参加		
1回以上の場合		
⑤職員の人事評価制度		
人事評価結果に基づき定期に昇給を判定する制度を設け、全ての職員に周知している	○	
⑥ピアサポーターの配置		
ピアサポーターを職員として配置している		
⑦第三者評価		
過去3年以内の福祉サービス第三者評価を受審しており、結果を公表している。		
⑧国際標準化規格が定めた規格等の認証等		
都道府県知事が適当と認める国際標準化規格が定めた規格その他これに準ずるものの認証を受けている		
小計（注2）		3 点
（※）8項目の合計点に応じた点数（注2）5以上：15点、4～3：5点、2点以下：0点		

(V) 地域連携活動		10 点
地域の事業者と連携した付加価値の高い商品開発、企業や官公庁等での生産活動等地域社会と連携した活動を行い、その結果をインターネット等により公表している	○	
1事例以上ある場合：10点		

(VI) 経営改善計画		0 点
経営改善計画の提出を求められていない。または、経営改善計画の提出を求められているが、指定された期日までに提出している。	○	
期限内に提出していない場合：-50点		

(VII) 利用者の知識・能力向上		10 点
前年度において、就労継続支援A型事業所等が利用者の知識及び能力の向上に向けた支援を行い、当該支援の具体的な内容を記載した報告書を作成し、インターネットの利用その他の方法により公表している。	○	
1事例以上ある場合：10点		

項目	点数	20点	30点	40点	55点	65点	80点	90点
労働時間	5点							
生産活動	-20点	-10点	20点	40点	50点	60点		
多様な働き方	0点	5点	15点					
支援力向上	0点	5点	15点					
地域連携活動	0点	10点						
経営改善計画	0点	-50点						
利用者の知識・能力向上	0点	10点						

合計	120	点	/ 200点
----	-----	---	--------

就労継続支援A型事業所におけるスコア表（実績Ⅰ～Ⅳ、Ⅵ）







(Ⅰ) 労働時間					
前年度（令和7年度）					
雇用契約を締結していた全ての利用者における延べ労働時間	17,173	時間	雇用契約を締結していた延べ利用者数	4,273	人
			利用者の1日の平均労働時間数	4	時間
(Ⅱ) 生産活動					
会計期間（ 4月～ 3月）					
前々々年度（ 年度）					
生産活動収入から経費を除いた額	円	利用者に支払った賃金総額	円	収支	円
前々年度（ 年度）					
生産活動収入から経費を除いた額	円	利用者に支払った賃金総額	円	収支	円
前年度（ 年度）					
生産活動収入から経費を除いた額	20,907,930	円	利用者に支払った賃金総額	20,759,184	円
			収支	148,746	円
(Ⅲ) 多様な働き方					
前年度（令和7年度）における取組（全体表「(Ⅲ) 多様な働き方」の各項目において「就業規則等で定めている」と選択した場合に記載）					
①免許・資格取得、検定の受検動奨に関する制度		②利用者を職員として登用する制度		③在宅勤務に係る労働条件及び服務規律	
<input checked="" type="checkbox"/> ①免許・資格取得、検定の受検動奨に関する制度を定めている		<input checked="" type="checkbox"/> ②利用者を職員として登用する制度を定めている		<input checked="" type="checkbox"/> ③在宅勤務に係る労働条件及び服務規律に関する制度を定めている	
④フレックスタイム制に係る労働条件		⑤短時間勤務に係る労働条件		⑥時差出勤制度に係る労働条件	
<input checked="" type="checkbox"/> ④フレックスタイム制に係る労働条件を定めている		<input checked="" type="checkbox"/> ⑤短時間勤務に係る労働条件を定めている		<input checked="" type="checkbox"/> ⑥時差出勤制度に係る労働条件を定めている	
⑦有給休暇の時間単位取得又は計画的付与制度		⑧傷病休暇等の取得に関する事項			
<input checked="" type="checkbox"/> ⑦有給休暇の時間単位取得または、計画的付与制度を定めている		<input checked="" type="checkbox"/> ⑧傷病休暇等の取得に関する事項を定めている			
(Ⅳ) 支援力向上					
前年度（ 年度）における取組（全体表「(Ⅳ) 支援力向上」の各項目に取組あり選択とした場合に記載）					
①研修計画に基づいた外部研修会又は内部研修会		②研修、学会等又は学会誌等において発表		③視察・実習の実施又は受け入れ	
<input checked="" type="checkbox"/> ①研修計画を策定している <input checked="" type="checkbox"/> ②外部研修、もしくは内部研修を1回以上実施している。		<input type="checkbox"/> ②研修、学会等又は学会誌等において1回以上発表している ※研修、学会等名 実施日 月 日 ※学会誌等名 掲載日 月 日 発表テーマ		<input checked="" type="checkbox"/> ③先進的事業者の視察・実習の実施している もしくは、他の事業所の視察・実習を受け入れている ※先進的事業者名 実施日/参加者数 2月12日 1人 ※他の事業所名 実施日/参加者数 月 日 人	
④販路拡大の商談会等への参加		⑤職員の人事評価制度		⑥ピアサポーターの配置	
<input type="checkbox"/> ④販路拡大の商談会や展示会等へ1回以上参加している。 ※商談会等名 主催者名 日時 月 日 内容		<input checked="" type="checkbox"/> ⑤職員の人事評価制度を整備している <input checked="" type="checkbox"/> ⑥当該人事評価制度を周知している 人事評価制度の制定日# 年 2月 1日 人事評価制度の対象職員数 4名 うち昇給・昇格を行った者 3名 当該人事評価制度の周知方法 所長会議、社員会議での周知		<input type="checkbox"/> ⑥ピアサポーターを配置している <input type="checkbox"/> ⑦当該ピアサポーターは「障害者ピアサポーター研修」を受講している ※配置期間 月 日～ 月 日 就業時間 職務内容	
⑦第三者評価		⑧国際標準化規格が定めた規格等の認証等			
<input type="checkbox"/> ⑦前年度末日から過去3年以内に福祉サービス第三者評価を受けている ※評価を受けた日 月 日 第三者評価機関		<input type="checkbox"/> ⑧ISOが制定したマネジメント規格等の認証等を受けている ※認証を受けた日 月 日 規格等の内容			
(Ⅵ) 経営改善計画					
<input type="checkbox"/> ⑥指定権者である都道府県（指定都市・中核市）へ、経営改善計画書へ提出した。 ※受理日 年 月 日					

各項目について適宜、実績がわかる情報を追加すること。

就労継続支援 A 型事業所における地域連携活動実施状況報告書

事業所名	桜ほのぼの苑大和田事業所	事業所番号	2711001467
住 所	大阪市西淀川区大和田3-9-7	管理者名	吉原隆司
電話番号	06-6105-7565	対象年度	令和7年度

地域連携活動の概要

<p><活動内容></p> <p>活動場所：株式会社ウエ・ルコ ⇄ 大和田事業所 実施日程：月度5～7日 実施時間：9時～17時 参加人数：親会社職員10名 指導員2名 利用者15名 実施した生産活動・施設外活動の概要 親会社の企画部門と連携した付加価値の高い商品開発 生産管理部門とのタイアップによる物流改善</p> <p>●地域連携活動のねらい 利用者の意見を反映した生産活動を行うことで、地元 メーカーの取組を知り、商品への愛着を高める。</p> <p>●対象者・地域にとってのメリット 活動場所では、地域在住の職員が多く交流する機会が生まれ インクルーシブなチーム生産活動が出来る。</p> <p><成果></p> <p>●実施した結果・得られた成果 ①商品パッケージのリニューアル ②物流搬入資材包装の簡素化、過剰包装の削減</p> <p>●課題点 物流面でのSDG'Sを踏まえた、新たな提案</p>	<p><活動の様子></p>      
--	---




連携先の企業等の意見または評価

<p>●連携した結果に対する意見または評価 大和田事業所は、姫島事業所の従たる事業所から2025年4月に独立されました。それを機会に直接生産活動を委託することとなり、独自の強みを感じています。（精神障害に多い方で）キメ細かな作業への対応力や利用者の方の一般ユーザーとしての意見はとても参考になります。特に、複雑な作業工程であるK商品では当初より独占的に取り組んでいただき、生産～部流工程における改善に大きく貢献されました。</p> <p>●今後の連携強化に向けた課題 石油高騰を始め、全ての原材料がコストアップする中で、Q（クオリティ）C（コスト）D（デリバリー）のバランスを踏まえた作業への取組を期待します。</p>			
連携先企業名	株式会社ウエ・ルコ	担当者名	管理本部：顧問 美馬完治

就労継続支援A型事業所における利用者の知識・能力向上に係る実施状況報告

事業所名	桜ほのぼの苑大和田事業所	事業所番号	2711001467
住所	大阪市西淀川区大和田3-9-7	管理者名	吉原 隆司
電話番号	06-6105-7565	対象年度	令和8年度

利用者の知識・能力向上に係る実施概要

<p><活動内容></p> <ul style="list-style-type: none"> 働く前の準備セミナーを実施 姫島事業所 令和8年3月18日 概要 「自分を知る」から始める、働く準備として自分の特性、強み、苦手を整理するための考え方を学習した。 大和田事業所所属全利用者 	<p><活動の様子></p> 
<p><目的></p> <ul style="list-style-type: none"> 就職をゴールとせず、就職後から長く働き続けることを見据えた準備をすることを目的とする。 就職後、利用者が配慮が必要なことなどをうまく伝えられる事で無理なく働き続けることができるようになるため。 	
<p><成果></p> <ul style="list-style-type: none"> 就職を目指す中で、ご利用者の意識が変わって就職後を見据えるようになってきている。 就職がゴールではないことを認識できたことが成果。 課題点 機材トラブルで途中聞き取り辛くなってしまった。事前準備を徹底し再発防止に努める。 	

連携先の企業や事業所等の意見または評価

今回は、株式会社桜ほのぼの苑の就労継続支援A型事業所（豊中・姫島・大和田）の働く前の準備セミナーに参加しました。オンラインセミナーでは、合理的配慮にもとづく、ハード面・ソフト面での職場環境作りを学びました。人材会社のオンラインセミナー後、弊社の障害者雇用の現状と方向性について説明しました。現在、職員が100名を越え障害者雇用率に対する対応及び税制等を背景とする社会的要請のもと、障害者雇用を推進しております。日頃お世話になっている委託作業のステップアップとして、利用者の方々と相思相愛の関係作りを目指します。

連携先企業（担当者）	株式会社ウエ・ルコ 管理本部：顧問 美馬完治
------------	------------------------

利用者からの意見・評価

- 就職がゴールではないことは、新たな気づきでした。自分自身の人生設計や家族のことをよく考えて、一般就労を目指すようにします。（A・T）
- いつも、事業所の朝礼等で良く聞く一般就労へのお話は、職業準備性＝職業ピラミッドに内容です。その内容を解り易く説明していただきました。（H・K）
- 株式会社ウエ・ルコへの一般就労と勤務時間拡大を長期目標として検討します。（K・M）

2026年2月12日(木)

株式会社桜ほのぼの苑

報告者：安藤

先進的事業者の視察 報告書

1. 視察先及び視察日

- ・ 社会福祉法人加島友愛会 大阪府豊中市上津島1-4-3
就労継続支援A型 ル・プラス
- ・ 視察日 2026年2月12日(木) 10時~12時
- ・ 視察者 安藤英己(桜ほのぼの苑 大和田事業所)・今枝日輝(桜ほのぼの苑)
畠中翔太(桜ほのぼの苑 豊中事業所) 多鹿雄貴(桜ほのぼの苑 姫島事業所)

2. 視察の目的及び選定理由

2024年11月に弊社の桜ほのぼの苑 豊中事業所が豊中市に出開所しており、同じ豊中市の就労継続支援A型の中で見学する事業所を探しました。

生産活動において、生産活動収支が賃金の総額を上回っている事業所であり、今後の就労継続支援事業を運営していくにあたってのヒントを得るため視察を行いました。

3. 会社概要、事業所の見学

まずは会社の概要を伺いました。定員は40名、ご利用者の年齢分布は20代、30代がボリュームゾーンとなり、年度ごとに1、2名の一般就労者を出しているとの事でした。

続いて工場をご案内いただきました。行われている事業はクリーニング。巨大な工場に大きな機械や洗濯物、カゴ車が立ち並び、利用者の方、職員の方がそれぞれの仕事を熱心にされていました。入り口近くに大きなクリーニング機械があり、ハンガーにかかった状態で衣服が機械から出てきて次の工程へと運ばれていました。



お仕事の中で大きなものは病院関係の衣料のクリーニングと行政関連の毛布のクリーニングとのことでした。大きな仕事を安定して準備しつづけることが事業としての好調につながるのだと思います。クリーニングのお仕事は連携するクリーニング会社

から受けておられ、ノウハウ含め緊密に連携されているようでした。

一方でクリーニングの需要の変化も起きているようで、以前と比べると売り上げの落ち込みは確かにあるとの事でした。

福祉施設としては利用者数の確保や入社された方の出勤率の維持などの課題があるとのことでした。

5. その他、感じた事

様々な機械を使用して仕事をされており、こなされる質・量ともに強みがあるように感じました。また、自治体の災害用備蓄のクリーニングも受注されているようであり、そういった大きな仕事を受注し、安定した収益構造を築くのが大切だと思いました。

現在、桜ほのぼの苑でも従来通りの軽作業に加え、機械を用いた作業を増やし、加工賃アップを目指しています。独自の強みを見つけ、伸ばしていけるよう気を配りたいと思いました。

